

秘めやかに魅せる 青森県産醤油

〔文〕山内 史子

〔スペシャルエッセイ〕
旨いを探して



今年の初め、東京・銀座にある某人気店のシェフの自宅で新年会が開かれ、食いしん坊が集まったときのこと。その日のご馳走のひとつ、釣り師持参のヒラメの刺身がテーブルに登場すると、シェフがむふふっと笑った。

「コレで食べてみて！ 旨いからっ!!」

ひげらかされたのは、なんと青森県産の醤油である。果たして、極上のヒラメのうま味をそっと包み、ふわりとふくらませる見事な共演が口中で展開された。

「この醤油、なにっ？ どこで買えるの？」

テーブルを囲む面々は、皆、フォーリンラブ。青森出身のわたくしが、ピノキオよりも鼻高々となったのは言うまでもない。

料理番組や本で紹介されるレシピには、ごくあたり前のように「醤油大さじ1」とある。しかしながら、同じ醤油でも東西南北日本各地で味わいが異なるのをご

存知だろうか。

たとえば九州の醤油は、全般的に甘い。辛さよりも、甘味が先に立つ。巷で話題の北陸新幹線で賑わう地域ならば、富山の醤油は程よい甘味とキレの良さで、石川は余韻で魅せる。お馴染み全国ブランドに代表される関東の醤油は、色も味も濃くてしょっぱい。

対して青森の醤油は……輪郭はいたって華奢。やわらかなうま味を秘めつつ、名残は軽やか。実にエレガントなのである。そう、だからこそ、ついドボドボ。風味がやさしいがゆえに、漬け物や納豆にたっぷりとかけてしまうのが悩ましい。

とはいえ、使いすぎは経済的に見てももったいないお話。ために、刺身を食べる際、いつもより少々控えめに醤油をつけていただきたい。すうっと後ろにまわり、新鮮な魚のうま味を際立たせてくれるはずだ。

ダシもまた、然り。焼干しや干し貝柱のような骨太系の力強いうま味はもちろん、根菜やにんにくといった野菜からしみ出る繊細なおいしさをもきれいに彩る。炊きたてのご飯に、ちろっとひとたらしすれば（びたびたにしないのが幸せに至るコツ）、醤油かけご飯も上品な一品に。

決して声高に己の存在を主張することなく、さりげなく、奥ゆかしく、相棒となる食材を引き立てる。青森の醤油は、料理が映える素晴らしい名脇役なのである。

同じやわらかな表情を持つ、県内各地の旨し酒とも、当然ながら美しいハーモニーを奏でる。酒がすすすす進む。気持ち良く夜は更け、つつい呑みすぎ。う～ん、青森の醤油は、やっぱり悩ましい。

やまうち・ふみこ 紀行作家。1966年生まれ、青森市出身。日本大学芸術学部卒業。英国ペンギン・ブックス社勤務を経て独立。国内外の史跡や物語の舞台を巡りつつ美味美酒を探し歩く。著書に「赤毛のアン島へ」（白泉社）、「ニッポン「酒」の旅」（洋泉社）など。



人口減少克服

未来を変える挑戦

VOL.1

人口減少社会においても持続可能な地域をつくる

人口減少克服に向けた県の取組や、青森県の現状などをシリーズでお伝えします。

地域の課題解決に向け、地域住民、県、市町村、大学などがスクラムを組んで

実態調査をもとに、地域の課題を洗い出す

人口減少や少子化、高齢化が全国的に進む中、地域の担い手不足など、さまざまな面で地域力の低下が懸念されています。特に、青森県の場合は、それらが他県より早いスピードで進行しているため、平成18年度から、将来にわたって活力ある地域を維持していくための研究・検討を開始し、対策を行ってきました。

平成26～27年度は、「人口減少克服プロジェクト」事業の1つとして、「集落経営再生・活性化事業」に取り組んでいます。この事業は、人口減少が進む集落の維持・活性化を図るため、公募により決定した6つのモデル地区において、地域住民、県、市町村、大学などが連携しながら、地域課題の解決に向けて住民自ら実施する取組を支援していく

ものです。同じ住民同士ではなかなかその価値に気づきにくい地域資源や魅力も、大学などの第三者的な視点も交えてあらためて地域を見つめることで、みんなで考えるきっかけづくりにしたいと考えています。

“協働”で取り組むことで見えてきたもの

平成26年度は、住民から直接お話を伺い、地域の良いところや課題となっていること、集落に伝わる伝統行事や祭りを含めた地域資源などの実態調査を行いました。さらに、住民の手で先進的な地域づくりを行っている秋田県の集落を訪問し、活動内容を参考にしながら話し合いやワークショップを重ね、地域の目標づくりを行いました。

平成27年度は、それらの目標を実現するための活動に本格的に取り組む予定です。



地域住民による話し合いの様子

一例としては、廃校舎を利用した地域住民の集う場所づくり、産直やそば打ちなどの小さな生業づくり、伝統文化の継承、移住者受け入れの試みなどがあります。地域住民が主体となり、大学や行政と“協働”で取り組む活動やその過程が、集落の維持・活性化につながり、さらに、同じような課題を持つ県内の多くの地域の参考になればと考えています。